

一般質問

今定例会は8人の議員が一般質問に立った。

安藤武議員は農業問題と消防団員の不足状況について、田口喜義議員は仙北市地域医療、田沢湖病院の診療所化などを取り上げた。

浦山敏雄議員も田沢湖病院改革と公共工事の入札について、青柳宗五郎議員は減反活用での農業振興と駐車場料金の取扱について質した。

平岡均議員は後期高齢者問題、佐々木章議員は市民と協働のまちづくり等。

田口寿宜議員は、田沢湖病院問題、門脇健郎議員は内陸線存続について質した。

農業振興の長期計画策定を!! 精力的に策定に向けて進めたい



安藤 武

質問 農業資材の高騰、中でも肥料は平均

6割の値上がりで大変な状況である。加えて燃料代の値上がりで、このま

までは農家の存亡に関わる事態を招くことは明らかである。仙北農業チャレンジプランの検討会資料によると、将来に生き残る強い決意を持つ農家が、大仙・美郷よりも、この仙北市は少ないと感じられる。複合経営に向けて強力な作目誘導のための支援助成を仙北市でも考えるべきと思うが、市長の考えを伺う。



複合経営作目の大豆の収穫

答弁

質問の中にある仙北農業チャレンジプランは今年で終了予定となっていて、来年度以降、仙北市独自の行動計画を作成する必要がある。経営の複合化に向けては、県単事業の夢プランや農山漁村活性化プロジェクト交付金の活用を検討している。仙北市の新たな戦略作目として見込まれるものなどがあれば積極的に市としても導入を図り、支援していきたいと思っている。

質問

組織営農に関する事項について、経営改善には組織化の誘導策が有効と考える。皆でやれば実績を上げられ

ると思う。こうした支援事業があれば何か生まれようか所見を伺う。

答弁

小規模農家の組織化問題については、昨年の品目横断的経営安定対策に変わって水田経営所得安定対策事業となり、やる気のある認定農業者の方であれば4ヘクタール未満でも対象となる特認制度を設けている。この制度を大いに利用して、小規模農家が加工に結びつけたり、他の収益性の高い農作物との組み合わせを考えたりする取り組みに対してはこれまで同様、積極的に支援をしてまいりたい。

質問

仙北市農業を展望するにあたって、長期計画を策定し農業振興を図っていくべきだが。

答弁

現在、中・長期計画という明確なものを出していないが、今、仙北市の農業振興計画を準備中である。中・長期の計画については策定に向けて進めていきたい。

質問

市の消防体制の充実と消防団の育成強化が必要と考える

仙北市の地域医療の課題を問う

いろいろな角度から検討している



田口 喜義

質問

合併の時にはそれぞれの地域に総合病院があり、診療所があり、おおむね役割を果たしてきた。しかしその後、医師不足等により救急指定の取り下げから始まり、今2つの市立病

答弁

仙北市として合併の結果、市として地域医療を行うに当たり市立病院が2つあり、

答弁

仙北市消防団の定数767名に対し現在の団員数は631名となっている。班長以上については充足されていて、班長未満の団員の補充が必要な状況である。補充の努力とともに、定年の引き上げを図るため、その準備作業を進めている。女性団員の募集もしているがまだいない。実現に向け努力を続けたい。